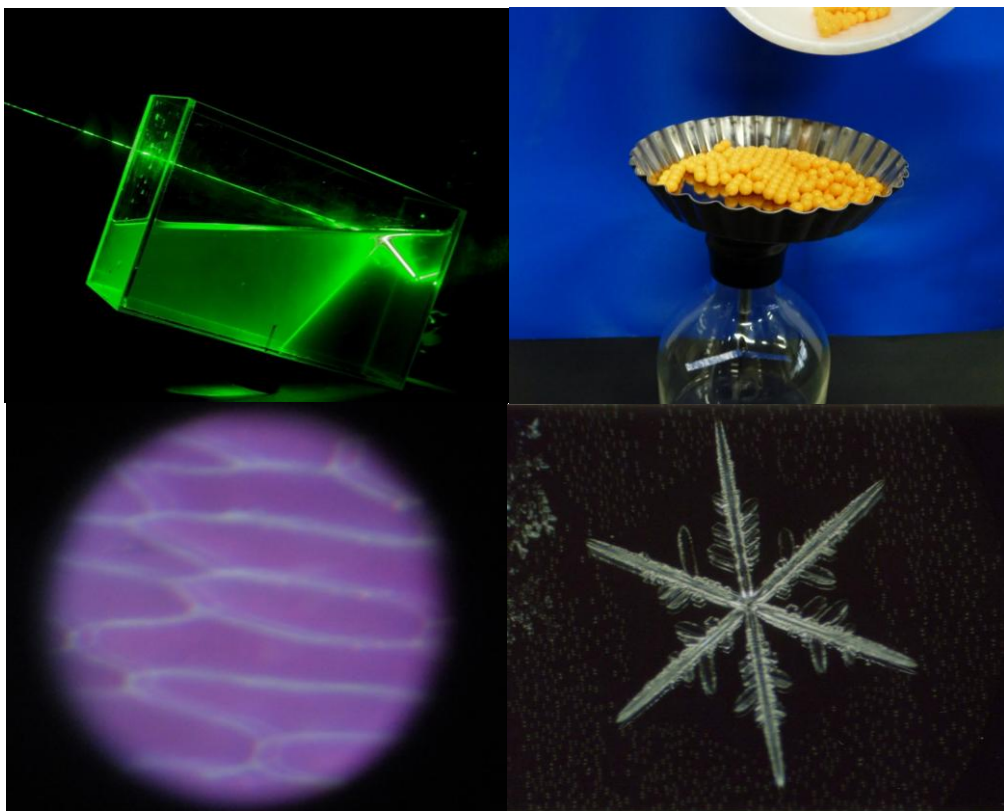


昭和の科学・文化短編映画で高齢者と 児童をつなぐ公民館活動 実施報告書

(平成24年度 新しい公共の場づくりモデル事業)

期間：平成24年4月～平成25年3月



＜実施団体＞

NPO 法人ふくい科学学園：福井映画サークル

NPO 法人バリアフリーシステム推進協会：福井県子ども NPO センター
春山公民館(福井市)：松本公民館(福井市)：春江西公民館(坂井市)

＜協力＞

NPO 科学映像館を支える会(映画 DVD 提供)

はじめに

NPO ふくい科学学園は、平成21年9月に設立され、主な活動は子どもの科学教育に関して行っています。一方、少子高齢化が進む現在、“高齢者の生きがい創生”や“世代間交流”は、地域として取り組まなければならない重要な課題となっています。そのような動機から、我々の団体他7団体の協力を得て、24年度の新しい公共の場づくりモデル事業に「昭和の科学・文化短編映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動」として応募させていただきました。

本事業は参加した7団体が福井県長寿福祉課の指導のもと、会議体を構成して、事業内容を吟味し、事業を遂行する形態を取りました。本事業に参加した春山公民館、松本公民館、春江西公民館、いずれの公民館においても、交流会に多数の参加者があり、交流会は成功であったと言えます。映画と実験を組み合わせ今回の事業は、世代間交流事業としてこれまでにない新しいものであり、各方面から高く評価されています。春山公民館が、第1回の映画として「カルピス誕生」を提案し、それを映画選定会議で検討し採用しました。これに対して実験企画会議が「カルピスを使った光の実験」を選び、これによって、映画と実験をうまく組み合わせ本事業のスタイルが出来上がりました。交流会の最初に映画を用いることによって、参加者が容易に一体感を持つことが出来、映画のあと実施するグループ実験に全員がスムーズに入ることができました。各3公民館において、それぞれ特徴ある方法で交流会が開催されたこともモデル事業として適格であったと思います。春江西公民館においては、春江西小学校が全面的に協力して小学校4年生・5年生の児童を交流会に参加させ、地域の高齢者が小学校に出向く形を取りました。その結果非常に良い成果が得られました。一方、松本公民館の交流会実施においては、児童・高齢者・大人の3世代の人数のバランスが良く、交流会の雰囲気が大変盛り上がりしました。さらに、ボランティアにて高齢者が、児童が使用する実験器具の製作にかかわるという、本事業が目指している“高齢者の生きがい活動”が生まれたことは高く評価できると思います。今後、この事業を福井県内、また他府県に広めていくことが望まれます。また、今回の事業を通じて多くのことを学びました。事業として一定の成果はありましたが、今後改善しなければならない点もあります。今後も皆さまのご協力のもとに交流会の内容・実施方法を継続的に検討・研究していきたいと思っています。

本事業は多くの方のご支援によって達成されました。本事業を発案する機会を与えていただき、また使用する映画のDVDを無料貸与していただきましたNPO 科学映像館を支える会、また講演会「健康と生きがいづくり」の開催にあたり講師を派遣していただきました長野県健康・生きがいアドバイザー協議会、本事業に対しご指導いただきました、福井県県民活動課、長寿福祉課の皆さまに厚く御礼申し上げます。また、実際に本事業実施に直接かかわっていただいた3公民館の方々、春江西小学校の先生方、交流会のスタッフとして参加して頂いた方々、また実験補助を担当していただいた学生の皆様に、心から感謝いたします。

本冊子は本事業の報告書として発行いたしますが、この中に交流会で使用しましたテキストの一部をコンパクトに編集し直し収録させていただきました。今後、公民館等の活動等で参考になれば、まことに幸いです。

平成25年3月22日
ふくい科学学園理事長
香川 喜一郎

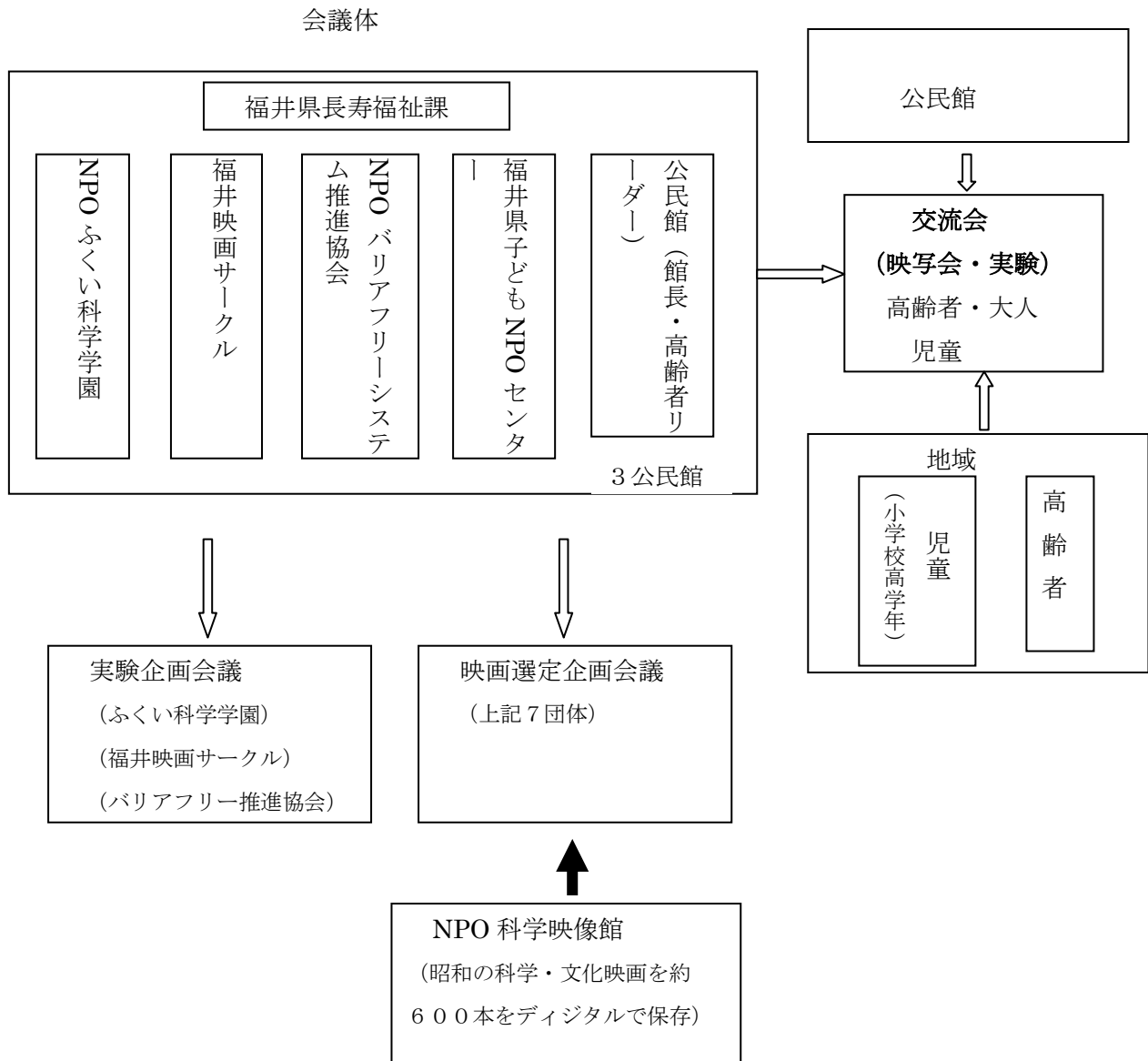
目次

はじめに	1
目次	2
事業の概要・会議実施日時等	3
事業実施体制図	4
交流会開催日時・テーマ・参加人数	5
交流会の写真（春山第1回・松本第1回）	7
交流会の写真（春江西第1回・春山第2回）	8
交流会の写真（松本第2回・春江西第2回）	9
交流会の写真（春山第3回・春江西第3回）	10
交流会の写真（松本第3回・春江西第4回）	11
交流会の写真（松本第4回・春山第4回）	12
交流会で使用する実験道具を高齢者が製作する活動	13
交流会のアンケート（松本公民館第1回）	14
交流会のアンケート（春江西公民館第1回）	16
交流会のアンケート（春山公民館第4回）	18
交流会のアンケート（春江西小学校担任の先生・校長先生の感想）	20
講演会「健康生きがいがづくり」の写真	21
講演会「健康生きがいがづくり」の配布レジメの一部	22
講演会「健康生きがいがづくり」のアンケート	24
新聞・ホームページ等での紹介記事	25
交流会テキスト、松本公民館第1回	26
交流会テキスト、春江西公民館第1回	31
交流会テキスト、春山公民館第3回	38
交流会テキスト、松本公民館第3回	44
交流会テキスト、春山公民館第4回	51

<新しい公共の場づくりモデル事業の概要・会議実施日時>

事業名	昭和の科学・文化短編映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動
事業概要	高齢者の生きがい創生、および、世代間交流促進のため、地域の公民館において、昭和時代に制作された科学・文化短編映画の映写会を、高齢者と児童の交流会をかねて開催する。また、映画の内容に関する実験を行う。
会議実施日時	<p><全体会議> 第1回全体会議：24年6月7日(木)、13:30～15:30 (交流会の実施内容・形態等に関して審議) 第2回全体会議：24年9月11日(火)、13:30～15:30 (中間評価・講演会実施等に関して審議) 第3回全体会議：25年3月1日(金)、13:30～15:45 (事業総括・報告書作成等に関して審議)</p> <p><映画選定企画会議> 第1回映画選定企画会議：24年6月7日(木)、15:35～16:35 (6月、7月の交流会映画選定に関して) 第2回映画選定企画会議：24年9月11日(火)、15:35～16:35 (9月以降の映画選定に関して)</p> <p><実験企画会議> 第1回実験企画会議：平成24年6月15日、14:00～16:00) (春山第1回交流会、および松本第1回交流会の実験内容に関して) 第2回実験企画会議：平成24年7月16日、14:00～16:00) (春江西第1回交流会、および春山第2回交流会の実験内容に関して) 第3回実験企画会議：平成24年10月11日、14:45～16:45) (春山第3回交流会の実験内容に関して) 第4回実験企画会議：平成24年11月19日、14:00～16:00) (春江西第3・4回交流会、および松本第3回交流会の実験内容に関して)</p> <div data-bbox="485 1556 1031 1848">  </div> <p align="right">24年9月11日の全体会議の様子</p>

平成24年度 新しい公共の場づくりモデル事業
「昭和の科学・文化映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動」実施体制図



＜交流会開催日時・テーマ・参加人数＞

- ・ 6月16日（土）：＜交流会、春山公民館第1回＞10時～12時、
参加者数 65人（児童54人、高齢者11人）
主催者側8人（内学生アルバイト3人）
映画：「カルピス誕生」、実験「カルピスを使った光の実験」
- ・ 7月 1日（日）：＜交流会、松本公民館第1回＞1時半～3時、
参加者数 78人（児童45人、高齢者20人、大人13人）
主催者側9人（内学生アルバイト3人）
映画：「カルピス誕生」、実験「カルピスを使った光の実験」
- ・ 7月17日（火）：＜交流会、春江西公民館第1回＞9時半～11時半、
参加者数 51人（児童31人、高齢者20人）
主催者側8人（内学生アルバイト3人）
映画：「つよい骨とよわい骨」、実験「手作り顕微鏡で観察」
- ・ 7月21日（土）：＜交流会、春山公民館第2回＞1時半～3時、
参加者数 69人（児童59人、高齢者10人）
主催者側8人（内学生アルバイト3人）
映画：「琴作り50年」、実験「振動と音の実験」
- ・ 9月29日（土）：＜交流会、松本公民館第2回＞9時半～12時、
参加者48人（児童27人、高齢者17人、大人4人）、
主催者側7人（内2人は事業費外学生アルバイト）
映画：「つよい骨とよわい骨」、実験「水レンズ顕微鏡」
- ・ 10月12日（金）：＜交流会、春江西公民館第2回＞9時半～11時半
参加者39人（児童31人、高齢者5人、大人3人）
主催者側：7人（内学生アルバイト2人）
映画：「つよい骨とよわい骨」、実験「手作り顕微鏡で観察」
- ・ 10月13日（土）：＜交流会、春山公民館第3回＞10時～12時
参加者24人（児童14人、高齢者7人、大人3人）
主催者側：8人（内学生アルバイト3人）
映画：「新幹線物語」、実験「まさつのない装置で運動の実験」

- ・ 11月20日（火）：＜交流会、春江西公民館第3回＞9時半～11時半
参加者44人（児童36人、高齢者5人、大人3人）
主催者側：8人（内学生アルバイト3人）
映画：「この雪の下に」、実験「人工霜・人工雪の実験」
- ・ 11月24日（土）：＜交流会、松本公民館第3回＞9時半～11時半
参加者28人（児童11人、高齢者13人、大人4人）
主催者側：8人（内学生アルバイト3人）
映画：「電気を送る」、実験「見えない電気を見る」
- ・ 12月 4日（火）：＜交流会、春江西公民館第4回＞9時半～11時半
参加者45人（児童37人、高齢者5人、大人3人）
主催者側：8人（内学生アルバイト3人）
映画：「この雪の下に」、実験「人工霜・人工雪の実験」
- ・ 2月 2日（土）：＜交流会、松本公民館第4回＞1時半～3時半
参加者49人（児童24人、高齢者10人、大人15人）
主催者側：9人（内学生アルバイト3人）
映画：「この雪の下に」、実験「氷と塩で人工雪実験」
- ・ 2月16日（土）：＜交流会、春山公民館第4回＞10時～12時
参加者41人（児童27人、高齢者8人、大人6人）
主催者側：9人（内学生アルバイト3人）
映画：「この雪の下に」、実験「人工雪の実験」

以上、全12回の交流会を実施（延べ参加総人数：678人）

<交流会の様子>

春山公民館、第1回

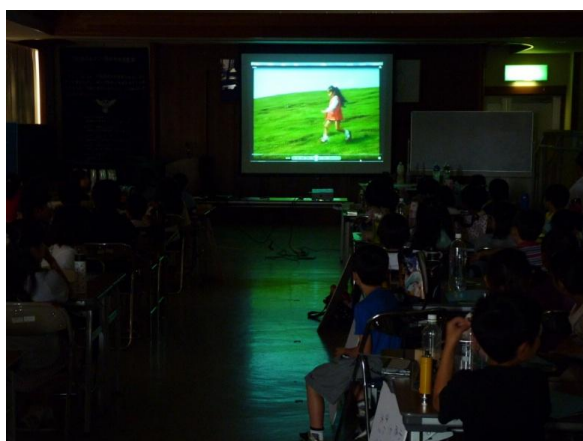


春山っ子を集めて開会

松本公民館、第1回



開会式



映画「カルピス誕生」



映画「カルピス誕生」



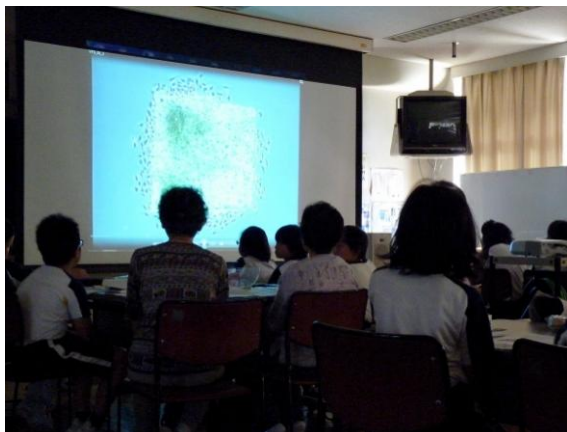
昔のカルピスと今のカルピスを比較



地域の高齢者が児童に実験を演示

<交流会の様子>

春江西公民館、第1回



映画「つよい骨よわい骨」

春山公民館、第2回



会が始まる前に児童が説明を受けている



高齢者と児童が水レンズ顕微鏡の組み立て



長い紙パイプで音を送る実験



司会の質問に参加者が挙手で答えている



児童と一緒に琴に似たゴム楽器を作る

<交流会の様子>

松本公民館、第2回



映画「つよい骨とよわい骨」を鑑賞

春江西公民館、第2回



映画「つよい骨とよわい骨」を鑑賞



水レンズを見ている



水滴レンズを調べているところ



高齢者と児童と一緒に水レンズ顕微鏡を作る



水レンズ顕微鏡を作っているところ

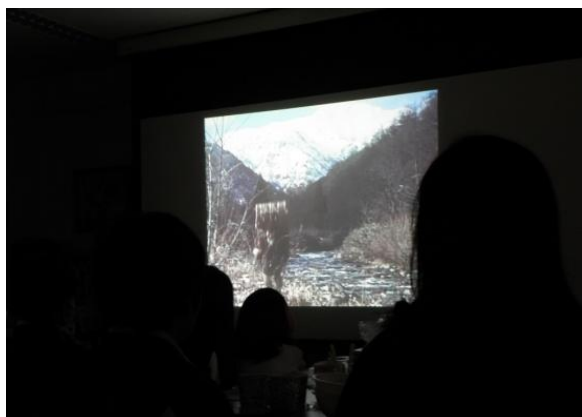
<交流会の様子>

春山公民館、第3回



映画「新幹線物語」を鑑賞

春江西公民館、第3回



映画「この雪の下に」を鑑賞



児童にコロの働きを説明



人工雪生成実験の準備をしているところ



まさつの無い装置で円運動野実験



電動かき氷機でかき氷を作っているところ

<交流会の様子>

松本公民館、第3回



映画「電気を送る」をみているところ

春江西公民館、第4回



事業の説明を聞いているところ



エジソン電球と現在の白熱電球を比較



映画「この雪の下に」を鑑賞



電気ふり子を使って静電気の実験



人工雪の実験をしているところ

<交流会の様子>

松本公民館、第4回



松本公民館、館長あいさつ

春山公民館、第4回



映画「この雪の下に」を鑑賞



映画「この雪の下に」を鑑賞



5班に分かれて実験の準備



雪と塩の量を測って人工雪実験の準備



人工雪生成の実験をしているところ

＜交流会で使用する実験道具を高齢者が製作する活動＞

1) 平成24年9月20日、午前10時から12時:

松本公民館において高齢者10人が参加、水レンズ顕微鏡の部品製作



2) 平成25年1月25日(金)、午前10時から12時:

松本公民館において高齢者7名参加、人工雪観察のための簡易顕微鏡を製作



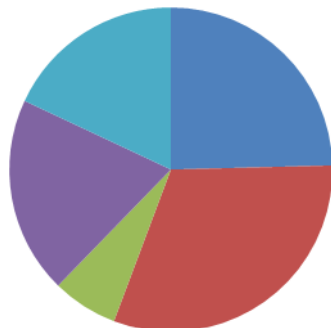
水レンズ顕微鏡の部品の製作



人工雪生成装置と製作した
簡易顕微鏡

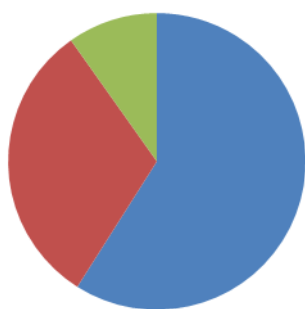
＜松本公民館第1回交流会アンケート＞ 平成24年7月1日（日）

あなたは、児童（小学校低学年、中学年、高学年）、高齢者（60歳以上）、
その他大人のいずれでシユか？



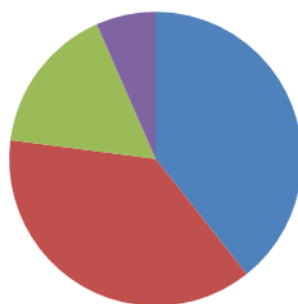
- 低学年（1, 2年）
- 中学年（3, 4年）
- 高学年（5, 6年）
- 高齢者（60歳以上）

本日の交流会に参加して、あなたは



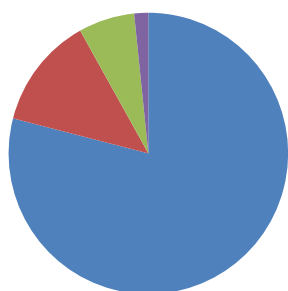
- とても楽しかった
- 楽しかった
- 少し楽しかった
- 楽しくなかった

映画「カルピスの誕生」を見た感想は？



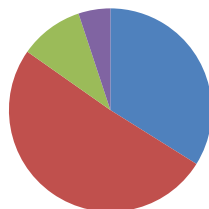
- とても面白かった
- 面白かった
- 少し面白かった
- 面白くなかった

「カルピスを使った光の実験」について



- とても面白かった
- 面白かった
- 少し面白かった
- 面白くなかった

この会は、高齢者（60歳以上）と児童と一緒に、映画を見たり、実験などを行い、お互いに仲良くなることを目的にしています。今後もこのような会があった方がよいと思いますか？



- 強く思う
- そう思う
- 少し思う
- そう思わない

＜松本公民館第1回交流会アンケート＞ 平成24年7月1日（日）

＜高齢者の感想＞

- ・期待してきました。子供たちの関心が集まるところが、年齢差に表れていて子供に対するか関わり方に久しぶりの新鮮さを感じ、良い時間を持てました。
- ・子供時代にこのような授業はありませんでした。こんな授業があれば、いろいろな事を知り得たのではなあとと思います。
- ・いろんな年代の方が集まり、実験したり、話しをする事はとても良い事だと思います。市民憲章の事も解り、よかったです。
- ・カルピスの実験なんて初めてで、こども達共々楽しめ、来て良かったです。
85歳の現在、80年前から飲んでいたカルピスに愛着を感じました。
- ・時代を担う子供達に夢と希望を与える良い機会だと思います。
- ・なかなか見られない科学映画を見ることができて興味深かったです。
- ・若い時には、何も学ぶ事ができなかったのも、今の子供達が羨ましいです。
次回も参加したいです。
- ・実験の最後に身近な現象のしくみを理解するプロセスになっていて「カルピスの夕日」を見た時は、ちょっとした感動でした。
- ・一人暮らしなので、短い時間でしたが、童心にかえり大変楽しかったです。
楽しく学べた。

＜大人の感想＞

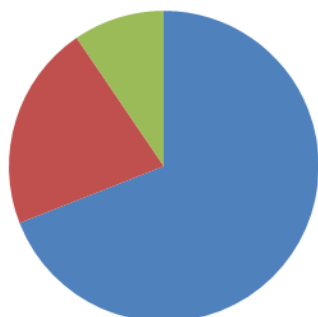
- ・高齢者との交流会とは知らなかった。親は参加せず、児童と高齢者のみの参加でよいのではと思いました。親がいるとついつい口をだしたり、面倒を見てしまうので。
- ・日曜日にこういう交流会があると、とても助かります。子供がとても喜んでいて良かったです。
- ・理科実験に感心を持ち、理科が面白いと感じるきっかけが増えるのではと思います。
アンケートは子供向けと大人向けとに作成していただけたらと感じました。
- ・自然の中に、とても不思議なことがたくさんあります。子供と大人、一緒に学んで知ることは大事な事だと思います。科学にとっても興味のある低学年の子供と参加しましたがとても楽しんでいました。
- ・又高齢者の方々と、和気あいあいと良い雰囲気ですごせて良かったです。

＜児童の感想＞

- ・カルピスの実験はとても楽しかった。又楽しい実験をしてみたいです。
- ・カルピス誕生の映画が良かったです。
- ・レーザーはまっすぐな直線の光なのに、カルピスを少し混ぜた水を通すと曲がるのが不思議です。
- ・カルピスでこんなことが出来ることを初めて知りました。光がジグザグで進む様子や光が赤く見える様子が面白かったです。

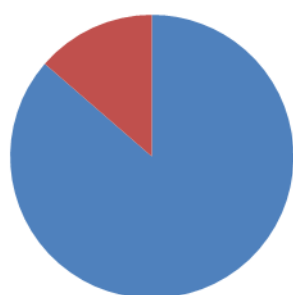
<春江西公民館第1回交流会アンケート> 平成24年7月17日(火)

あなたは、児童（小学校中学年）、高齢者（60歳以上）、その他大人の
いずれでしょうか？



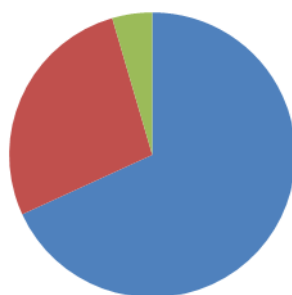
- 小学校中学年（4年）
- 高齢者（60歳以上）
- 高齢者以外の大人（20～59歳）

本日の交流会に参加して、あなたは



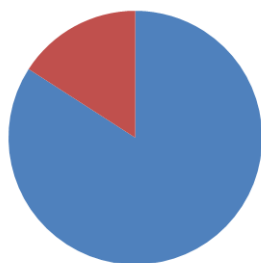
- とても楽しかった
- 楽しかった
- 少し楽しかった
- 楽しくなかった

映画「つよい骨とよわい骨」を見た感想は？



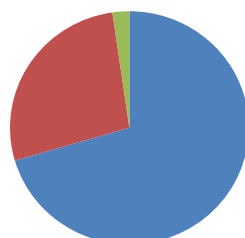
- とても面白かった
- 面白かった
- 少し面白かった
- 面白くなかった

実験「手作り顕微鏡で観察」につ
いて



- とても面白かった
- 面白かった
- 少し面白かった
- 面白くなかった

この会は、高齢者（60歳以上）と児童が
一緒に、映画を見たり、実験などを
行い、お互いに仲良くなることを目的
としています。今後もこの様な会があ
った方がよいと思いますか？



- 強く思う
- そう思う
- 少し思う

＜春江西公民館第1回交流会アンケート＞平成24年7月17日（火）

＜高齢者の感想＞

- ・ 素敵な実験に出会い、子供の頃にかえったようで、楽しい時間を過ごせました。又の機会を待っています。有難うございました。
- ・ 科学離れは子供の時から環境ではないかと思います。好奇心一杯の子供には、いつもこんな機会をつくってあげたい。
- ・ 久しぶりの子供達の笑顔に会い、童心にかえりました。映画に関しては、この子達を育てている父兄の人が少しでも頭において食事等、気を使っているといわないのでは毎日の事、違うのではなかろうか？
- ・ 進んで声をかけてもらい、大変嬉しかったです。鉛筆を使わせてもらったり、もっと仲良くしたいなあと思いました。
- ・ 児童の入場に挨拶をして、机に着きました。実験も見せていただき、今日一日、大変気持ちよく過ごせました。
- ・ 久しく子供達と話していて、昔の頃が思い出されて感慨深いものがありました。
- ・ 高齢者になって、このような難しい勉強をするとは思いませんでした。でも、いろいろ楽しかったです。
- ・ 時間の経つのを忘れて勉強させていただきました。主人と2人暮らしの為、本当に楽しかったです、

＜児童の感想＞

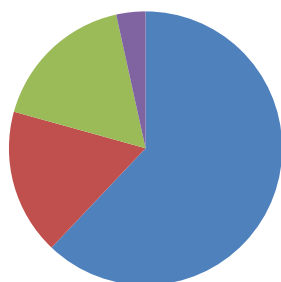
- ・ 強い骨と弱い骨を見て、骨は細胞からできていることを初めて知りました。骨がこわされ、外では骨をつくってどんどん大きくなっていくんだと思いました。実験ではいろいろな物を使って、水レンズをつくりすごいです。この交流会はすごくおもしろかった。
- ・ 普段余り見えないものがすごく大きく水レンズで見れて新しい発見です。特に虫はいろんなところに毛がはえていました。動く虫もいましたが見にくかった。骨の映画を見て、体は骨が大切なんだと思いました。カルシウムやコラーゲンをたくさんとっていきます。
- ・ 花の花粉を見たら、いっぱいつぶがあり、びっくりしました。蟻は体に毛があって、不思議に思いました。骨の細胞がいろいろな働きをしているので、もっと増やそう。

高齢者等の会を広げれば、おばあさんやおじいさん達がもっとやさしくなるから、会の広がりを望みます。

- ・ おばあさん達といろいろ実験ができて、とても楽しかったです。タンポポの中を見ることができたので、すごかった。これからも、他の子供達にも教えてください。
- ・ 解らなかったところを教えてください、すごく嬉しかったです。今日、観察した蟻よりも小さいものも見たいです。家でも妹に見せてあげたいです。
- ・ ティッシュに小さい穴がある。蟻は毛がある。花粉に点々がある。骨の中を見たことはないけれど、映画を見て、骨の中はすごいと思いました。このような交流会がたくさんあればいいなあと思います。

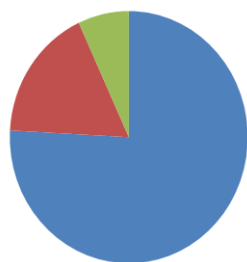
＜春山公民館第4回交流会アンケート＞ 平成25年2月16日（土）

あなたは、児童（低学年、中学年、高学年）、高齢者（60歳以上）、その他大人のいずれでしょうか？



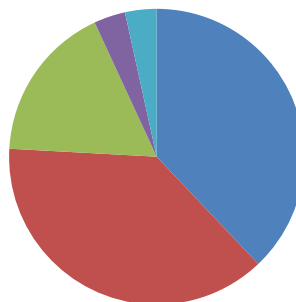
- 小学校低学年（1, 2, 3年）
- 小学校中・高学年（4, 5, 6年）
- 高齢者（60歳以上）
- 高齢者以外の大人（20～59歳）

本日の交流会に参加して



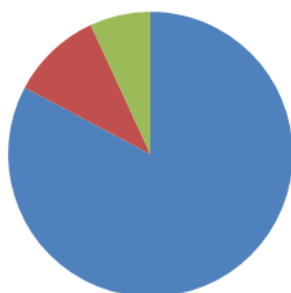
- とても楽しかった
- 楽しかった
- 少し楽しかった
- 楽しくなかった

映画「この雪の下に」を見た感想は？



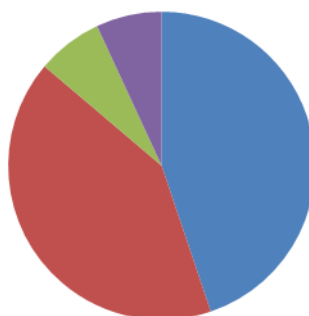
- とても面白かった
- 面白かった
- 少し面白かった
- 面白くなかった
- 無回答

「人工雪の実験」について



- とても面白かった
- 面白かった
- 少し面白かった
- 面白くなかった

この会は、高齢者と児童と一緒に、映画を見たり、実験などを行い、お互いに仲良くなる事を目的としています。今後もこのような会があった方がよいと思いますか？



- つよく思う
- そう思う
- 少し思う
- そう思わない

＜春山公民館第4回交流会アンケート＞ 平成25年2月16日（土）

＜高齢者の感想＞

- ・身近な現象を簡単な実験で体験できることは、児童達が未知へのチャレンジ精神を養うために有意義である。大人と子供、世代を超えて交流することは、しなやかな社会づくりに大切なことで、三つの輪（輪、話、和）しなやかな社会の大切なキーワードである。
- ・二回目の参加でしたが、孫と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。雪がとても綺麗にできていたので、良かったです。
- ・子供達がいきいきと楽しく実験に参加しているのが、とても良かったです。私も初めて雪の結晶が見られてとっても幸せ。宝石みたいにキラキラ輝いていました。これからも参加したいです。
- ・雪の結晶が綺麗で美しいと思いました。又こんな機会があれば参加してみたいです。ありがとうございました。
- ・自分の幼少の頃の暮らしを思い出して、懐かしかった。
- ・初めて参加しましたが、とっても楽しい時間を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。
- ・今回初めて参加して、とても楽しい時間を過ごせました。内容的には、低学年が多いので、映画は少し退屈そうでしたが、高齢者の方々は引き付けられるように見ているのが印象的でした。私もです。昔は雪も多く大人も子供も生活の中に雪への思いもたくさんあったと思いますが、今はレクレーションみたいな感じかな？実験は、グループの中に手際の良い子供達がいて頼りになりました。身近にあるもので、おもしろい実験でした。
- ・子供にもどった気分で、楽しく新しいことが分かり、大変有意義な時間でした。

＜児童の感想＞

- ・本物の雪の結晶が見られてうれしかった。
- ・結晶は時間がたつと形が変わるということがすごいいました。
- ・私は、理科や実験が大好きなので、この会に来ました。そしてこの会に来て良かったと思います。すごく楽しかったし、実験も大成功したので、またこのような会があったら参加したいです。
- ・僕たちの雪が大成功したので、うれしかったです。僕たちの班が一番綺麗にできたので、うれしいです。
- ・本番で成功したので、家でも作りたいです。アイスクャンデーも作りかったです。
- ・塩と氷で雪が簡単に作れることを初めて知りました。
- ・部屋の中で、雪が作れるのがすごいいました。
- ・60年ぐらい前はタバコやいろいろなものを自分たちの手で作っているところがとてもすごかった。
- ・雪がとてもきれいにできていたので、うれしいです。
- ・作るのは、むずかしかったけど、結晶が見られて良かったです。

＜春江西小学校、４年・５年担任の先生、および校長先生の感想＞

水の顕微鏡作りでは、透明なボールに水を入れて物体をのぞいてみることで、水がレンズになることに驚き、初めは半信半疑だった子どもたちも意欲的に制作に取り組むことができました。そして、どんどん科学的な事象に関心を高めている子ども達の姿が見られ、とても有意義な時間だったと思います。ただ、お年寄りが少なかったのと制作に時間がかかったため、ふれあいの機会としては不十分だったと思いました。

水レンズを作るという、４年生にとっては少し難しい体験でしたが、子どもたちは、とても興味深そうに取り組んでいました。地域の高齢者とも、一緒に活動し言葉をやりとりしながら、少しずつふれ合うことができたようです。暑い中での活動でしたが、楽しいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。

人工雪・人工霜を作る実験の前に雪国の映画を見ましたが、昔の様子を知る上で、とても興味深かったです。実験は、今まで使ったことのない実験道具を使っているのでも、やってみたいという気持ちになりました。グループごとに教えて下さる先生がついてくださって、難しい実験もわかりやすかったです。子どもたちには、「高齢者とのつどい」と話しましたので、分かりやすいネーミングがあるといいなと思います。ありがとうございました。

学校の授業では行わない実験を、それも学校にはない器具を使ってできたことは子どもたちの理科に関する興味・関心をおおいに高めることができたのではないのでしょうか。子どもたちが生き生きと活動していたのが印象的でした。また、雪国の生活の映画も、昔の人たちの生活を知る上で子どもたちの興味を大変引いていました。

この「高齢者とのつどい」は、子どもたちにとって楽しくためになる一時になったと思います。ありがとうございました。

普段の授業では見られない生き生きと活動する子ども達の姿を目の当たりにし、感動を与えることの大切さを改めて感じました。理科離れが叫ばれていますが、機会を与えてやることは、私たち大人の責務です。こういった機会に恵まれたことに感謝しています。多くの子ども達のためにも、今後も素晴らしい企画が続行されることを切に望みます。

<講演会：「健康と生きがいづくり」>

——健康とはなにか？ 生きがいとは何か？——

長野県健康・生きがいアドバイザー協議会 講師： 理学博士 中嶋 研二

開催日時：平成24年11月10日（火）13：30～16：00

開催場所：アオッサ706・707室、参加者数 38名



講師の熱弁



公民館などから
多数の参加者



講演のあとの
質問・討論

本当の健康とは？

生活の中で“何が一番大切ですか”という質問に対して、多くの人生の経験者たちが“健康が一番”と答えています。

人生を思う存分楽しむため基盤となるものとして、健康の大事さが深く認識されるようになってきました。

しかし、ここで一つ問題となることがあります。

人々が求めている「健康」というものは、いったい何なのか？

一見簡単そうに見えますが、実はこれが大変厄介な問題であることに気づいていない人がほとんどです。

健康とは、単に病気や障害を持っていないから健康なのか、病気を持っていたら健康とは無縁のものなのか？

健康観を取り巻く社会の動きも変わってきています。

いま日本人の平均寿命は世界のトップに位置していますが、寝たきり高齢者の数は世界でもトップクラスです。

日本の医学水準は高いと云われていますが、“所詮、病院は病気を発見するだけの所”といわれる側面もあります。

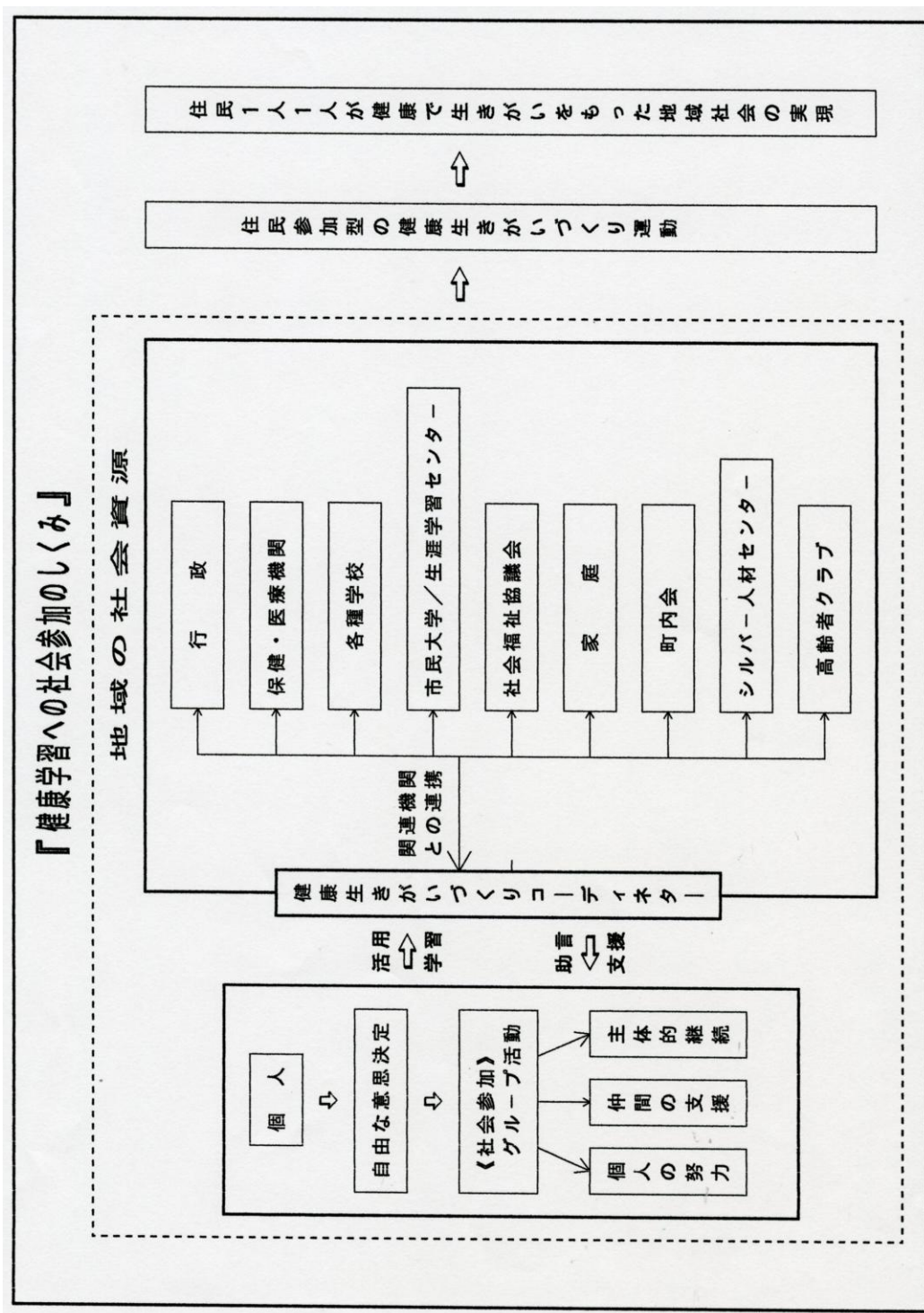
このような状況の中で、医療費や介護費用は年々高騰を続け、最近では国家予算の50%以上にもなり、社会保障財政を圧迫しています。

いま一度、基本に戻って“何が本当の健康なのか”を考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

私たちは、今までの医療技術に盲信していた時代を経て、これらには長所と短所があることに気づき始めています。

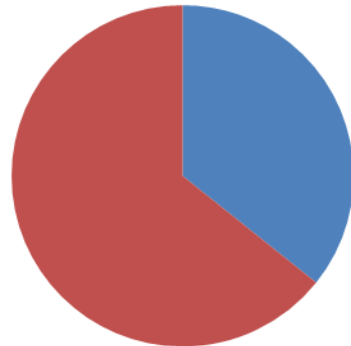
いま私たちは科学的知識と精神的成長とを結びつける「心の時代」を迎えようとしています。私たちの「価値観」「使命感」「人生の目的」と云ったものが、私たちの健康を支える要素になっています。

自己責任と愛、呼吸、感覚、食事、運動、感情、思考、遊びと仕事、コミュニケーション、性、人生の意義、自己実現、スピリチュアルなどについて学び、それらがある程度統合され、自分自身のバランスがとれたとき、本当の健康が訪れることでしょう。



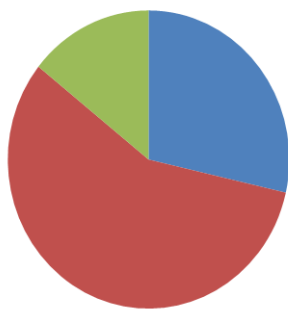
<講演会のアンケート>

あなたは、20代～50代、60歳以上、そのいずれでしょうか？



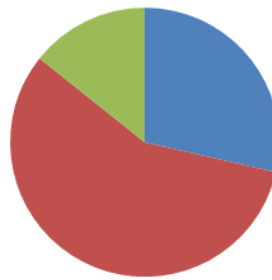
■ 20代～50代
■ 60歳以上

本日の講演会に参加して、あなたは



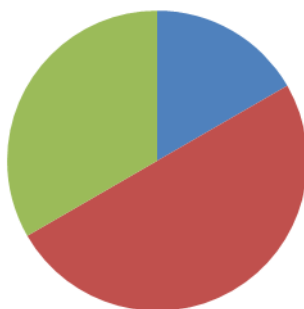
■ 大変有意義であった
■ 有意義であった
■ 少し有意義だった
■ 得るものなかった

講演「人が健康になる、とっておきの話」を聞いた感想は？



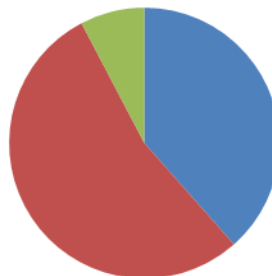
■ 大変興味を持てた
■ 興味を持てた
■ 少し興味を持てた
■ 興味を持てなかった

活動事例発表についての感想は？



■ 大変興味を持てた
■ 興味を持てた
■ 少し興味を持てた
■ 興味を持てなかった

新しい公共の場づくりモデル事業、「昭和の科学・文化短編映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動」の活動に対して、ご意見をお聞きます



■ 大変評価できる
■ 評価できる
■ 少し評価できる
■ 評価できない

<新聞・ホームページ等での紹介記事>

- 1) 春江西公民館第1回交流会に関する記事：24年7月18日、県民福井
- 2) 松本公民館第4回交流会に関する記事：25年2月3日、福井新聞
- 3) 本事業内容に関して詳細に紹介した記事：24年8月21日、NPO タイムズ(創刊号)
- 4) 本事業を紹介したホームページ記事：24年10月16日、および5年3月3日、NPO 科学映像館ホームページ、「久米さんの科学だより」に掲載

Vol.1

NPO タイムズ ふくい

2012年(平成24年)8月21日 (6)



映画と科学実験の融合 (映画はつよい骨とよい骨)

映画と科学実験の融合 (映画はつよい骨とよい骨)
 実験を行うという点で、その組み合わせが、とても新鮮なほどとひびきを打つものばかり

真の世代間交流の姿とは
 しかし、反面、問題・課題も浮き彫りとなってきた。それは実験準備がとて大変なことだ。実験器具は手作りがほとんどで、参加人数が多ければ多いほど、これからは公民館を通じて、高齢者の方々に実験の道具を作ってもらい、子どもたちと一緒に映画と実験を楽しむという風になれば、高齢者の生きがいという点においても真の世代間

福井地域からのNPO便

科学を通して未来をつくる、世代をつなぐ

映画と科学実験のコラボレーション
 ふくい科学学園の活動は、子どもたちが科学に興味をもって科学や技術開発者に育ってもらいたい、また、健全に育ってもらいたいという想いから始まっている。

そのために、数々の実験教室や合宿を行ってきた。子どもたちも興味を持って、成果を上げてきたのだが、もう一つの大きな目的として掲げている。互いの世代と児童をつなぐ。世代間交流事業が今一つしつくりとないと感じていて、そんな中、映画と科学実験という少し変わった組み合わせでスタートしたのが、福井県の『新しい公共の場づくりモデル事業』。昭和の科学・文化短編映画で高齢者と児童をつなぐ公民館活動と路打った事業だ。これは福井市や坂井市の公民館で、高齢者と児童に5分程度の短編映画を楽しんでもらい、それにかかわる実験を行うという点で、その組み合わせが、とても新鮮なほどとひびきを打つものばかり

(特活)ふくい科学学園
 代表者 香川 晋一郎
 主な事業
 ・科学実験教室(AOSSA)
 ・科学の楽しさを児童と児童をつなぐ事業
 ・野外の実験教室、1泊2日の合宿
 ・教員養成講座
 ・海外教育支援
 福祉から学ぶまで
 科学ってこんなに楽しいを伝えたい
 〒910-0804
 福井県福井市高木中央2丁目3701-9
 TEL (0776) 53-3787
 E-Mail fukui-science@fukui.jp
 URL http://www.fukui-science.jp/



世代を超えて科学実験は心弾ませる

交流が果たせるのではないかと考えています。そうすればより安価なコストでいろいろな地域で開催も可能です。とこれからの姿も語る。

香川さんの生み出したこの事業。現在は福井市内の公民館2ヶ所、坂井市の公民館1ヶ所、計3ヶ所で行われている。実験を行うのだが、そう遠くないうちに様々な地域で実を結ぶのではないだろうか。



平成24年7月18日、県民福井



平成25年2月3日、福井新聞

<久米さんの科学映像便り>

ふくい科学学園の事業は素晴らしい 2012年 10月 16日

本年度の「新しい公共の場づくりモデル事業」は本当に素晴らしい。これぞまさにゆとり教育。詳細な活動内容をお届けできればと、理事長の香川先生と交渉している。先生はじめ支援グループのみなさんのご努力に敬意を表したい。